

## 第 14 卷 PDF 読本



## 中央本線（東京～塩尻～名古屋）

2024 年 5 月 4 日 歩く鉄道作家 樫原 勉

<目次>

はじめに

中央本線（東京～塩尻～名古屋：営業キロ 424.6 km）

東京～みどり湖～塩尻：222.1 km

岡谷～辰野～塩尻：27.7 km

塩尻～名古屋：174.8 km

第1章	東京～八王子	5
	補足 1	2 5
	補足 2	3 8
第2章	八王子～甲府	4 9
第3章	甲府～塩尻	6 1
第4章	岡谷～辰野	7 6
第5章	辰野～塩尻	9 4
第6章	塩尻～木曾福島	1 1 2
第7章	木曾福島～中津川	1 2 5
第8章	中津川～多治見。金山～名古屋	1 3 5
第9章	多治見～金山	1 4 5

## はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」によるPDF読本旅日記の手記記録です。これまでの5巻（うち2巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第6巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第九弾目として、東海道本線などに接続する、東京都・神奈川県・山梨県・長野県・岐阜県・愛知県を走る、本州中央部にある中央本線の旅（営業キロ424.6km）などについて執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算23作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

本巻では、東京から武蔵境までの区間、わいわい会（高松一高同窓の歩き会）での旅日記を掲載しています。なお、第1回目から第50回目までのわいわい会模様は、“**わいわい道中記 50回記念号**”（書籍）として国立国会図書館に納本しています。

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春18きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

## <ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、第1巻（第1編）として国立国会図書館に納本済みのため、本図書館や榎原勉文庫にて、次のPDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第1編（日本横断歩き鉄の旅）

# 中央本線



2020年9月28日 榎原 勉

## 第1章 中央本線（東京～八王子）

### 第1節 12月11日（土）：東京～神田

（第40回わいわい会で駒込～東京を歩く。）

第40回わいわい会は、平成22年12月11日（土）実施。本日は快晴で温暖な一日であった。また、携帯電話が威力を発揮する一日でもあった。愛犬セブンの散歩を済ませるや否や古谷氏から7時47分、本日の出欠の迷いの電話がある。当然「同期は同期。是非出席下さい」と願います。この応対で古谷さんが参加方向に傾いて頂く。遠い昔の交渉術を思い出す。8時42分、溝縁さんから欠席の連絡あり。9時、自宅を出る。9時31分、古谷氏から約束の時間を少し遅れるが、参加して頂くとの連絡あり。感謝の思いで一杯となる。中央林間駅9時33分発の電車でJR駒込駅を目指す。



10時38分、山手線の巣鴨駅を出た辺りで、宇賀神さんから「JR駒込駅での改札口が二つあるのですが、北口、東口のどちらにしますか」との電話を頂く。「どちらがメインですか」と応対する。「南北線が接続する北口がメインの感じ」との回答あり。「それでは北口でお願いします」と応対する。昨年、埼玉高速鉄道（浦和美園＝赤羽岩淵）踏破の際、JR駒込駅経由で南北線乗り換えた場面が蘇る。あの時の経験が生かされなかったのが少し残念であった。反省の材料となった。10時41分、門口さんから、改札口の確認の電話あり。

「北口」と回答。JR 駒込駅には 10 時 45 分到着。臼杵さんと宇賀神さんが北口改札口前で待機されていた。お二人に会釈して、改札口を出る。改札口前で JR 東日本の企画による「駅からのウォーキング」のイベントがあった。係りの女性がプラカードを上げていた。本日の参加人数は 2,500 名位で、六義園を通るコースとのことであった。その関係でリュックを背負った中高年の人を多数見かける。坂本さんのお話によると、このイベントの参加費は不要でお菓子や飲料水がサービスとして支給されるとのこと。

10 時 52 分、植村さんに「待ち合わせ改札口は北口」と連絡する。10 時 53 分、藤本さんから改札口の確認の電話あり。そして、10 時 55 分頃、門口さん、藤本さん、谷本さん、植村さんが駒込駅北口に登場。11 時少し前に、携帯を持参されていない坂本さんも北口改札前に無事お見えになる。後は古谷さんのみ。田端駅に 10 時 45 分到着というメッセージを誤って 11 時 45 分と勘違いする。それで、本日予定の 11 時を過ぎてもお見えならず。皆さんの合意を得て 10 分だけ延長してもらおう。しかし、11 時 10 分になっても登場がないため、再度確認の電話を谷本さんに電話して頂く。その結果私の聞き違いとわかる。古谷さんとは次の田端駅で 11 時 45 分に待ち合わせることにする。8 名の方に簡単な挨拶をして、1.6 k m 先の田端駅に向けて出発する。本来ならば、駒込駅前で本日参加者の記念写真を撮るところであるが、古谷さんがまだお見えになっていないためパスする。駅舎だけの写真 (11 時 11 分) に留める。全員の記念写真は田端駅に持ち越す。本日の東京駅までの踏破駅は次の通り。

駒込 → 田端 → 西日暮里 → 日暮里 → 鶯谷 →

上野 → <sup>おかちまち</sup>御徒町 → 秋葉原 → 神田 → 東京



11 時 16 分、駒込さつき通り前を通過。山手線の外側を歩く。11 時 21 分、銀杏が紅葉した光明山前を通過。古谷さんの名（ファーストネーム）に因んだ名称なので驚く。藤本さんからも賛同を頂く。そして、藤本さんとの会話の中で、新京成線踏破の際の松戸近郊にあった「ワイワイ屋」を思い出す。懐かしい限りである。意外に身近なところに我々に関係する地名や企業名等があるのに驚く。11 時 22 分、谷本博士によると、山手線で 3 つしかないという「第二中里踏切」前を通過。宇賀神さんも谷本博士の説明を聞いて、携帯カメラにこの踏切を収める。



第二中里踏切（山手線で三つしかない踏切の一つ）



田端駅で古谷氏と合流

11時45分に田端駅に到着。暫くして、本日10人目の古谷氏が登場する。駅前で記念写真を通行人に撮って頂く。12時、常磐貨物線の片瀬踏切前に来る。暫くこの踏切前で待機したが、一向に遮断機が下りてこなかった。待機したのは、山手線と思ったからである。山手線は前方高架になった線路を走っていた。この近郊で2回袋小路にぶつかり少し遠回りをする。カメラ・パソコンに強い古谷氏は、40回目の節目のわいわい会ということもあり、ステッキの先端にカメラを取り付け、終始私達の動きの記録を撮り続けてくれていた。感謝で一杯となる。

最長営業キロ ベスト3 (10名以上参加)

1位：第7回 (平成14年6月：京王線) 21.9 km

2位：第11回 (平成15年9月：京王線) 16.0 km

2位：第18回 (平成17年7月：諏訪湖一周) 16 km





片瀬道踏切



西日暮里駅



日暮里駅



正岡子規庵

12時10分、西日暮里駅に到着。12時18分、日暮里に到着。ここでトイレ休憩する。臼杵さんと釣りやゴルフの話をお聞きしながら歩く。その他に毎日1時間程度早歩きをしているとのことであった。12時35分、根岸近郊で臼杵さんからこの近郊に「子規庵」とあると

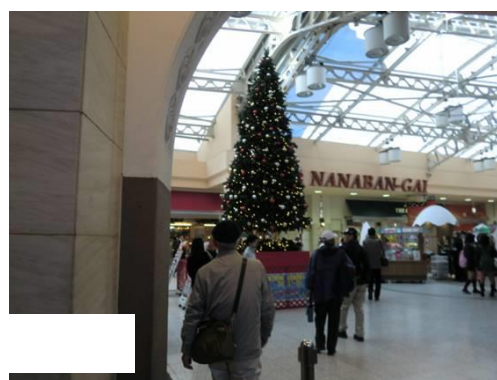
のお話を聞き、この庵に立ち寄り、記念写真を撮る。玄関前のブロック塀には現在 NHK で放映中の「坂の上の雲」のポスターが展示されていた。



12時47分、鷺谷駅前を通過。この近郊は夜の楽園が道路に沿って多々あった。13時10分、上野駅に到着。昼食にしようと思い皆で店を探す。しかし、駅前には立ち食い蕎麦屋等があったが、ゆっくり落ち着いて食事するような感じの店は見つからず。それで、クリスマスツリーが主役である駅ビルに入るが、人気のある店は長蛇の列で断念することにする。御徒町駅への道筋で店を見つけることとする。御徒町中央通商店街に入る。坂本さんの勧めで庄屋に入ろうとするが、生憎準備中であった。お客に声を掛けている若い女性の勧めで庄屋の対面の店に決める。藁をも掴む思いだったのでほっとする。



上野駅



パチンコ屋に隣接した「季の蔵」という店であった。ここで遅い昼食（13時40分）を摂る。この店に入る頃、本日11人目の西原さ

んから電話がある。今、「人形町にいる」とのことであった。電話で現在の居場所を説明するが、うまく説明できず。各自、メニューを見て海鮮丼、鮪丼、カレー等を注文する。少し狭かったが、全員が同じ場所で食事ができとてもよかった。生ビールで乾杯する。これまでのわいわい会の思い出話に花が咲く。七ヶ浜の「パン屋」、根府川の「からみもち」、函南の「食堂なし」の話題も出て来る。門口さんから「小休止の時出したかったのですが機会がなく」と言われて、美味しいチョコレート差し入れがある。門口さんの心温まる気配りにはいつも頭が下がる思いである。



西原さんが14時頃登場。私の下手な説明が災いしたようであった。非常に申し訳ない気持ちで一杯となる。西原さんからもドライ焼等のお土産を頂戴する。西原さんにも機会あるたびに気配りして頂いている。感謝あるのみだ。改めて乾杯する。西原さんも交えて14時半頃まで楽しい懇談が続く。7月末の彦根旅行の件も話題に出る。14時32分、季の蔵前で記念写真を店員の方に撮って頂く。



写真撮影後、東京駅に向けて出発する。久しぶり参加の植村さんと世間話をしながら歩く。「歩きは気分転換に最高」とのことであった。また、坂本さんには「私の著書を何回読み返しても味がある。そして、前回の伊良湖岬の旅は永年の夢が実現でき檜原さんに感謝している」と歩きながらお褒め頂く。御徒町の路地を通り抜け、山手線の内側を歩く。その関係で御徒町駅と秋葉原駅には立ち寄らず。秋葉原近郊では沢山の若者と対面する。14時58分、中央三井信託銀行前で谷本博士と逸れそうになる。私達の歩いている道路の向こう側を谷本さんが歩いていた。ここでも携帯電話が威力を発揮してくれた。15時25分、須田町の交差点を通過。





15時29分、JR神田駅前通過。14時30分、かつてフコク生命の千代田支社や企業年金部門があった西沢ビル前を通過。近くに神田パンセ時代よく行った姉妹居酒屋「升亀」があった。思わず懐かしくなる。駅舎工事中の東京駅には15時57分到着。



東京駅

丸の内側の地下街にある「神戸屋レストラン」で第一次反省会をする。予定よりも30分位東京駅到着時間が遅れた関係で、白杵さんと西原さんが反省会に参加されずアップする。残り9名で17時位まで懇談する。門口さんからリュックの雨対策についてお伺いする。山のコーナーに行けば、リュックのサイズに応じたカバーを売っているとのことであった。これで雨への対策も今後はできる。私にと

っては大きな収穫であった。また、今後のわいわい会の日程や「わいわい道中記／50 回記念号」の話題も出る。私の今後ウォーキングのロマンについても語らせて頂く。そして、楽しい懇談も終了する。



神戸屋レストランにて

二次会は、大崎さん、谷本さん、坂本さん、宇賀神さん、檜原の5名で八重洲口にあるうどん浦房「杵屋」で行う。この店は1年前のさぬきうどん屋と同じ場所にあったが、店舗名と経営者等が変わっていた。丸の内側から八重洲口側に出るのに難儀する。途中、次男坊と発音が同じである「けいすけ」と言うラーメン店があった。杵屋には17時25分頃到着。ここで、20時過ぎまで忘年会。大崎さんと相模大野までご一緒させて頂く。帰宅途中、私の自費出版した「こだわり鉄道つたい歩き／アクチュアリー東海道本線踏破」について改めてお褒めを頂く。この励ましの言葉で更なるエネルギーを頂く。自宅には22時55分到着。本日の営業キロは8.7km、万歩計は35,009歩だった。今年も本日で営業キロは500kmを突破できた。



杵屋にて

暖かい師走の町は実に楽しかった。また、大変実りある一日であった。古谷さんにはお忙しい中ご出席に加え、終始ビデオを回して頂き感謝感激。早速ウォーキングの翌日、同窓会ホームページの同好会写真コーナーに掲載して頂いた。それから、谷本さんから朗報なニュース（JR 東日本土日切符）をお伺いする。この件を確認するため、谷本さんは第二次会への道筋 JR サービスコーナー等で汗をかいて下さった。更に、反省会等で“来年のわいわい会のスケジュール”や“今後のわいわい道中記の方針”を関係者に根回しできた。また今回もわいわい会が無事遂行でき皆さんに感謝あるのみだ。

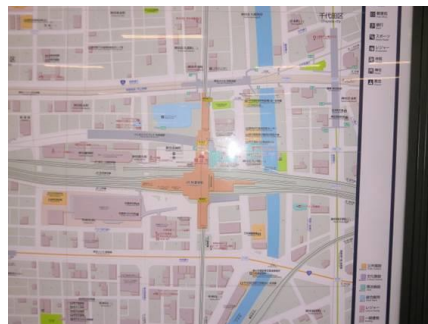
## 第2節 12月8日（土）：御茶ノ水～新宿

（第48回わいわい会で秋葉原～新宿を歩く。）

御茶ノ水(11:44)～水道橋(12:02)～飯田橋(12:40)～市ヶ谷(13:50)～四ツ谷(14:08)～信濃町(12:20)～千駄ヶ谷(15:16)～代々木(15:43)～新宿(16:10)

第48回目のわいわい会は、平成24年12月8日（土）実施。概ね温暖で快晴の天候に恵まれる。6時頃起床し、朝愛犬セブンの散歩を済ませ、JR秋葉原駅中央改札口前には10時過ぎ到着する。西田さんから7時48分、谷本さんから大崎さんを含め9時56分、欠席の

連絡あり。引き続き 10 時 3 分、末澤さんからも欠席の連絡あり。



10 時 30 分から 11 時にかけて、宇賀神さん、福田さん、藤田さん、内田さん、藤本さん、佐藤さん、坂本さん、植村さんと 9 名が順次、JR 秋葉原駅中央改札口前に 9 名集合する。本年 7 月に産声をあげた「わいわい会賛歌」の楽譜・歌詞を順次手渡す。誰か来るといけな  
ないと思い、11 時 10 分まで待つ。しかし、9 名以上は揃わず。待ち時間を利用し、カセッ



トテープレコーダー（演奏は末澤さん）を聴いて頂く。初めて聴く藤田さんから「行進曲のような感じで凄い」とお褒めを頂く。挨拶を済ませ、駅前で記念写真を撮影し、11時15分、御茶ノ水駅を目指し出発する。



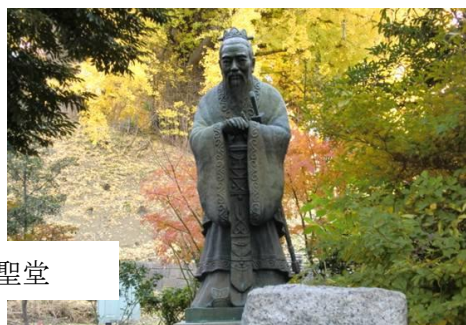
御茶ノ水への路



11時36分、紅葉が見頃な孔子の像がある湯島聖堂を散策。何時見ても御茶ノ水近郊の丸ノ内線は風光明媚で最高。御茶ノ水駅には11時44分到着。駅前には電車の窓からよく見かける東京医科歯科大や順天堂大があった。神田川に沿って歩く。12時2分、水道橋到着。東京ドームにつながる後楽橋（12時5分）を渡った先でも水道橋駅を撮影。



湯島聖堂



御茶ノ水駅



水道橋



飯田橋



12時24分、飯田橋駅に到着。12時40分、神楽坂の翁という蕎麦屋で昼食を摂る。この店は数年前、幹事会または懇親会で数回利用した店なので懐かしかった。女将さんとの再会は胸にジーンときて心が温まった。ここで40分位休憩する。もり蕎麦をつまみとする生ビールは最高であった。会話も弾む。一段落したら福家さんに電話しようと考えていたところ、12時51分、福家さんから本日の忘年会の件でタイミングよく携帯に連絡を頂く。全部で出席者は10名と答える。蕎麦屋の前で写真撮影し、市ヶ谷駅に向う。歩きながら、福田さんとわいわい道中記の50回記念号について色々相談させてもらう。



市ヶ谷駅には 13 時 50 分到着。市ヶ谷から四ツ谷にかけて、小高い丘を越える。町並み、ビル、緑、川等、大都市東京に魅了される。徳川家康の偉大さを痛感する。14 時 8 分、四ツ谷駅に到着する。14 時 22 分、学習院初等科前を通過。14 時 26 分、南元町に到着、そして、赤坂御用地や明治記念館前（14 時 38 分）を通過する。



四ツ谷駅



信濃町駅への路

信濃町駅から外れる。神宮外苑では銀杏祭（11 月 17 日～12 月 9 日）のイベントがあった。14 時 47 分、銀杏並木前で記念写真。15 時 16 分、千駄ヶ谷駅に到着。15 時 18 分、津田塾大学（大ホール）前を通過。15 時 20 分、代々木駅前にあるドコモビルと銀杏を背景に三人の女性を写真撮影。



学習院初等科



明治記念館



御観兵榎



銀杏祭



銀杏祭

15時25分、国立能楽堂前を通過。15時28分、ユニークな名前の泥人形という喫茶店前を通過。15時35分、副都心線で通過した日本共産党のビルを見つける。その先に野菜専門のカレー屋があった。沢山の人が集まっていた。15時42分、山手線で三つしかないという踏切を通過。青山街道踏切とあった。15時43分、塔のようなビル（ドコモ）が駅前にある代々木駅に到着。



千駄ヶ谷駅



ドコモビルを背後に



国立能楽堂



珍名の泥人形



野菜を食べるカレー屋



青山街道踏切



代々木駅



タイムスクエア

紀伊国屋、タイムスクエア、高島屋を經由し、新宿駅東口には16時10分到着。「咲くら」という忘年会の会場に出向く。17時前に10人目の福家さんがお見えになる。宴会前に記念写真。乾杯後暫くして、テープを聞きながら「わいわい会賛歌」を皆で口ずさむ。その後、

19時半まで反省会兼忘年会を楽しむ。時の経つのは早し。なごりおいしい反省会だった。



新宿駅



咲くらにて



二次会

二次会は、福家さん、藤本さん、宇賀神さん、檜原の4名で椿屋珈琲店にて2時程度懇談し解散。三次会は福家さんと23時過ぎまで歓談し、お開きとなる。自宅には12時50分頃となる。何れも福家さんから御馳走になる。本日の営業キロは8.6km、万歩計は18,288だった。充実した一日であった。

### 第3節 2001年2月10日（土）：八王子～武蔵小金井

千葉から八王子まで中央線・総武線の総仕上げは、平成13年2月12日（月）が休みであったこともあり、2月10日（土）と11日（日）の連荘で八王子から新宿を目指した。2月10日は町田のヨドバシカメラでCDウォークマン購入後、11時30分八王子に行き、スタートを切った。八王子を出発してまもなくすると浅川に出会い、豊田に着く。八王子と豊田間は複雑な地形でアップダウンも多く営業距離4.3Km以上に距離感を覚えた。日野駅近郊で偶然にも関東同窓会囲碁同好会で知り合った大先輩の多田さんにお会いする。お孫さんを羽田駅に送って帰りとのことであった。私の方は「今日と明日の2日間で新宿まで走破します」と答えて別れた。この時も世間は広いようで狭いと痛切に感じた。

日野を過ぎると多摩川が待ち受けていた。この橋を渡ると立川駅となる。駅前の「てんや」という天婦羅専門店で北海天井を昼食としてとる。立川から国立までは鉄道の南側を歩く。国立の南側の駅前通りは谷保まで2Km位の心を和ましてくれる桜並木が堂々と続く。この通りには、学園都市国立市を象徴する一橋大学、都立国立高校、桐朋高校などの名門校が続く。この通りで毎年11月の初旬一橋祭と国立市民祭とが同時期に行なわれ盛況である。一橋祭の見物等で何回か家内や両親とこの通りを歩いたことがある。また、3月下旬1度だけ来たことがあるが、ソメイヨシノの桜並木は素晴らしい。国分寺駅前の殿ヶ谷戸庭園に入園しようと思ったが、残念ながら閉園時間のため断念した。貫井を通り武蔵小金井を目指す。昭和48年頃武蔵小金井駅近郊には免許証更新で来たこともあり、また、高校の先輩宅に一度お邪魔したことがあり、駅までの道は分かると思っていたが、辺りが薄暗くなったこともあり道に迷いそうになる。辺りの住人に聞き難を逃れる。武蔵小金井には5時頃着く。本日の営業距離は18.3Kmであった。歩きは41,147歩となった。



日野駅



豊田駅

#### 第4節 2001年2月11日（日）：武蔵小金井～新宿

2日目は、南武線経由で武蔵小金井に行き、8時45分のスタートとなった。東小金井を過ぎると左手に亜細亜大学が見えて来る。武蔵境、三鷹を通り吉祥寺へ急ぐ。三鷹駅前の桜並木はとても印象的である。ここまでの歩きは鉄道の北側としたため、順調に辿り着くことができた。吉祥寺から井の頭公園の見物を兼ね沿線の南側に進路を変更したため、適当に道なりに歩き過ぎて、西荻窪、荻窪と行くに連れて京王井の頭線の方に誤って進むことになる。そのため荻窪までのリカバリーに相当神経を費やした。荻窪駅前のカレー専門店で昼食をとる。阿佐ヶ谷、高円寺にはアーケードのある商店街あり。阿佐ヶ谷の商店街を探索していると、宝橋、柏橋のある金太郎マークの表示のある遊歩道があり、この道を通り高円寺に抜ける。中野、北新宿を通り15時過ぎに新宿駅に着く。この日は、三男英太の高校受験で精神的に不安定であったが、本日のウォーキングはそんな私を落ち着かせてくれた。本日の鉄道営業距離は17.1Km、歩数は35,050歩だった。

※第3節と第4節は、歩き当時の旅日記で記録写真も限定的でかつメモする程度でした。24年の歳月歩きながら考え、現在のような旅日記となりました。新宿～立川の区間については、補足1、補足2で再挑戦しました。